

ほのぼの

第22号

平成21年

7月

発行

神戸市須磨区戎町1-2-3

TEL 078-732-5209

信行寺門信徒会

涙を越えて十年

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要 信行寺震災復興十周年記念法要

法要日程

◇平成二十一年十一月二十一日(土)
記念講演 作家 五木寛之氏

◇平成二十一年十一月二十二日(日)
推見行列

記念法話 行信教授教授 高田慈昭師
記念演奏 二胡奏者 姜曉艷さん



板宿

信行寺

〒654-0023

神戸市須磨区戎町1丁目2-3

TEL 078-732-5209 FAX 078-732-3266

大法要の日程

◆ 平成21年11月21日（土）

記念講演 作家 **五木寛之氏**
（神戸新聞に『親鸞』を連載中です）

◆ 平成21年11月22日（日）

稚児行列

記念法話 行信教校教授 **高田慈昭師**

記念演奏 二胡奏者 **姜 晓艶さん**
ジャン ショウイエン

【お誘いの上、ぜひお参りください】

このたびの大法要は、

これまでにない特別の法要になります。

◎特別の御縁をいただいで、著名作家の五木寛之氏に記念講演をお願いすることができました。

今、神戸新聞に『親鸞』を連載中の作家です。ご本山の西本願寺で五月にもご講演されました。

普通、末寺にはなかなかお越し頂けるお方ではないと思いますので、この機会に是非なまのお声を聞き、今後の人生の指針にされては如何でしょうか。

◎記念法話は、おなじみの高田慈昭先生です。ご聴聞下さい。

◎二胡（胡弓）の演奏者姜さんは、仏教に深い思いをもたれているお方で西本願寺などでもたびたび演奏会をされ全国で活躍されています。二胡の名手です。二胡の演奏をじっくり味わって下さい。

〔親鸞聖人七百五十回大遠忌法要 信行寺震災復興十周年記念法要〕



稚児行列参加者募集!!

この度、親鸞聖人750回大遠忌法要並びに
信行寺震災復興10周年記念法要を修行するに当たり
『稚児行列』を実施いたします。

- (1) 実施日
平成21年11月22日(日)
- (2) 対象
3歳から小学校5～6年生迄
(身長 145cm以下)
- (3) 定員
50名
- (4) 参加者
稚児1名につき 8,000円
(衣装代・着付代・お土産・写真代など)
- (5) 申し込み
参加費を添えてお早めに…。

※ 詳細は参加希望者に後日連絡します。



平成二十一年三月二十八日(土)

天岸浄円先生

春の彼岸法話

ここの本堂に掛けておられます「二河白道の譬喩(ひゆ)」の額があります。これは、今から千三百年前の中国の唐の最初の時代の坊さんで、善導大師というお方が説かれた譬喩を絵で表したもののなのです。その教えを継いで、日本で初めて浄土宗を興されたのが法然上人で、それが基になって親鸞聖人の説かれた浄土真宗が今日に伝わってきたわけです。

一人の人が西に向かつて進んでいくと、無人の荒野に忽然と水と火の二河を見る。水火を分けて一本の白道が通っている。後方からは群賊と悪獣がいのちを狙っている。旅人は進退窮まって二河の岸に立っていると、東の岸から「この道を訪ねていけ」と勧める声がする(発遣)。そして向こう岸から「直ちに來たれ、

我よく汝を譲らん」と阿弥陀如来の声がするので(召喚)。後方から来る群賊は邪教、悪獣は煩惱、火の河は怒り嫉みの心、水の河は貪愛、一本の白道は浄土往生を願う清浄の信心と、この絵はいろんな意味を持っております。

東岸の声は釈迦如来、法然上人、親鸞聖人の声なのです。火も水も消えることなく、いわば煩惱を断ずることなく涅槃に至ることをこの譬喩は教えています。憎しみも愛ものり越えて、涅槃寂静の世界に生まれることを願って、私達の往く道はこれだと、八百年前の先達は明らかにされたのです。

私達はいつまでも生きていけるものではありません。南無阿弥陀仏の名号が私達に届くということは、まさに阿弥陀如来の召喚の声が届いていることとなのです。



平成二十一年三月二十九日(日)

信行寺住職

私は、周囲から受けるいろんな情報をうけ感覚で動いております。そして自分の考えが一番正しいと錯覚しておるのです。それは自分で自分を見ておるからなのです。これが仏の目で自分を見た場合、何と恥ずかしい自分であつたかと明らかにされるのです。

人間とはどういうものかと顧みた場合、「行に迷い、信に惑い、心昏く」闇の中で行く方向が分からぬのです。

民主主義になって、ものごとを多数決で決めても、それが正しいとは言えません。ガリレオが「地動説」を言い出した頃は、それが正しいとは思わなかつた。常識というものは、人間が拵えたもので、周囲の状況で何時でも変わります。

しかし、いかに世の中が変わろうと、社会が変わろうと、厳然と変らぬものは仏の智慧なのです。

あつまれ

信行寺キッズサンガ

～夏休み 子ども会～

◎日 時：7月30日（木） 午後1時～4時

小学生を対象に、おつとめと仏教の勉強会をしています。
今回は、みんなで絵かきもします。
仕上げた作品は、ご本山の「全国児童作品展」に応募します
ので、挑戦して下さい。

◎持ち物：おじゅず・クレパス・絵の具セット

※詳しくは、信行寺まで、お問い合わせ下さい。

花まつり

平成21年4月12日

お釈迦さまの誕生日を
祝って毎年の花まつり
子ども会。副住職夫
妻も指導に一生懸命
がんばっておられま
す。この催しが永く続

きますようご協力をお願いします。



♪ブッターン・サラナン・ガッチャーミ♪
お父さんの伴奏で三帰依を歌う



若坊守の指導で折り紙遊び



手品に子どもたちも参加
して盛り上がる

『門信徒会総会開催』

去る四月二十五日に、第8回目の
信行寺門信徒会総会が開催されました。



た。

議長に稲岡康好さんを選出し、20年度の会計報告、事業報告、21年度の事業報告、予算案ともに原案とおりに承認されました。

親鸞聖人大遠忌法要 震災復興十周年法要

達成へ



本年度は親鸞聖人七百五十回大遠忌法要、震災復興十周年法要を控え、その準備や進行に、お世話くださる役員の方々はもとより、門信徒の皆様方の一層のご協力をお願いいたします。未曾有の不景気で気分も意気消沈の昨今ではありますが、「こんな時こそ」憂鬱な気分をふっ飛ばす記念事業をと、目標をかかげている住職の思いを、門信徒のみならず、一丸となって達成しようではありませんか。

信行寺門信徒会

21年度事業計画

- ① 寺報の発行
(7月・11月・3月予定)
- ② 旧跡参拝旅行(一泊二日)
6月11日(木)～12日(金)
伊勢・東海方面・専修寺他
- ③ 夏期特別法座(シーバル須磨)
8月18日(火)
- ④ 念仏奉仕団(第26回)
10月5日(月)～6日(火)
- ⑤ 親鸞聖人七百五十回忌法要
震災復興十周年記念法要
11月21日(土)～22日(日)

高田派本山専修寺参拝と 伊勢を訪ねて

旧跡参拝旅行に参加して 石田智子



長らく旅行に行く機会もありませんでしたが、この度はお誘い戴き、参加できることを楽しみにしていました。

まず訪れた長島の一向一揆があつた輪中の郷では、資料館の映像や展示物に当時の苦勞を知りました。次の高田派本山専修寺のご本尊は善光寺からお迎えた一光三尊仏で普段はご開帳されていないことや、高田派には蓮如上人の影響をうけていないことなどを詳しく伺いました。宝物館では親鸞聖人の直筆の教行信証などいろいろな書物も拝見し、また名勝の庭園や茶室にも案内して戴きました。

バスの中で、住職様から行く先々について丁寧に説明して戴いておりましたので、これらの体験や伺つたお話が本当によく理解できたように思います。

翌日は伊勢教堂にお参りしました。伊勢神宮のお膝元（神道）の町で浄土真宗の教えを広めること、周りからの軋轢の厳しい中で存続していくことの険しさを教えて戴き、私達がいかに恵まれた中でご縁を戴いているのかを知ることができました。

皆様のお陰でこの素晴らしい旅行に参加できました。ありがとうございました。

信行寺行事予定と御案内

夏期特別法座

日時 8月18日(火)

午前11時～午後3時

会場 シーバル須磨

秋の彼岸法要

9月12日(土) 住職

9月13日(日) 浅井成海師

西大谷納骨参拝

日時 10月18日(日)

本山念仏奉仕回

日時 10月5日～6日

どなたでも奮ってご参加下さい。お待ち申しております

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要 信行寺震災復興十周年記念法要

平成二十一年十一月

二十一日～二十二日

この度の行事予定の中でも、最大の行事は親鸞聖人の大遠忌と、震災復興の記念法要です。

昨年の報恩講の初日に、告示の高札を掲げて以来、この日のために門信徒一同一生けんめい準備に勤めています。

これは、私達の生涯にあるかないかの御勝縁であり、子々孫々に亘って浄土真宗の教えを継承していく礎となるものと存じます。

また記念事業の一環として、五木寛之氏の記念講演、二胡姜 暁艶さんの演奏、稚児行列など企画しております。

皆様、参加できる行事にはすすんで出席し有意義な大法要に致しましょう。

編集後記

今回の寺報は来る十一月の大法要を控え、門信徒の皆様方に更なる御自覚を得て頂きたく編集いたしました。

寺のあり方が問われる昨今、当信行寺では月々の法座その他、いろいろの生の活動を積み重ね、宗教とは何かと問い、努力されておられることに感謝しております。